

環境部たんけん!

長野市の環境行政を担っている環境部。知っているようで知らないことが多いのでは!

そこで、今回は市役所環境部を訪ねてみました。

長野市環境ビジョンの実現を目指し今後もパートナーとして共に活動していきましょう。

長野市環境ビジョン

山にみどり・川に清流・谷に風・空に星
自然と和して発展するまち・人のくらし
みんなの知恵と行動でつくる環境・未来・ながの

長野市役所第2庁舎
3階です。大勢の
人が忙しく働いています。



キラピーるぽ



見えないところで
市民の生活を
支えているんだね!!



パートナーシップは
大切だね。

I. 環境部の組織

●環境政策課

環境政策全般に関すること

【環境企画担当】

環境基本計画、自然環境保全、環境教育、環境美化、ながの環境パートナーシップ会議事務局

【環境保全担当】

環境汚染・生活環境公害対策、合併浄化槽

【地球温暖化対策室】

地球温暖化対策、太陽光発電補助金

●生活環境課

ごみ・し尿処理に関すること

【企画管理担当】

ごみ処理企画調査、ごみ減量資源化、し尿処理、生活雑排水処理

【啓発指導担当】

ごみ分別啓発指導、ごみ収集運搬、ごみ集積所、ごみ指定袋

【広域連合ごみ処理施設等建設準備室】

広域連合ごみ処理施設建設推進

●廃棄物対策課

廃棄物処理などに関すること

・産業廃棄物処理業の許可及び再生利用業の指定

・産業廃棄物処理施設の設置許可等

・産業廃棄物、一般廃棄物処理業の監視、行政指導及び行政処分

●清掃センター



一般廃棄物の処理に関する
こと

●衛生センター



し尿処理や
公衆トイレ
の管理に関する
こと

II. 環境部の職員数

環境部長

環境政策課22名、廃棄物対策課13名、生活環境課22名、清掃センター55名、衛生センター20名 計133名(全職員の約5%)

III. 環境部の予算規模

環境部の予算は、市全体約1710億円のうち約59億4千万円 3.4%

IV. ながの環境パートナーシップとのつながり

◆環境部と連携しているプロジェクトチーム

◇環境政策課：水環境保全、子どもの環境学習支援

◇地球温暖化対策室：太陽エネルギー普及促進、レジ袋使用削減

◇生活環境課：生ごみ削減・再生利用、レジ袋使用削減

◆環境部以外と連携しているプロジェクトチーム

◇観光振興課：スキー場跡地の自然復元

◇教育委員会博物館：光害対策

◇森林整備課：市民の森、スキー場跡地の自然復元

◇河川課：水環境保全

◆パートナーシップ会議から市政参画

- ・長野市環境審議会(1名)
- ・長野市廃棄物減量等推進審議会(1名)
- ・長野市食育推進審議会(1名)
- ・長野市民公益活動促進委員会(2名)

広域での取り組み

千曲川流域レジ袋削減推進協議会に参加

レジ袋使用削減チーム

レジ袋チームは、佐久市から飯山市までの14市町村の市民団体・事業者・行政からなる「千曲川流域レジ袋削減推進協議会」に参加して活動しています。6月26日千曲市更埴文化会館で全体会が行われ、各地域から60名(長野地域からは8名)が参加し、これまでの活動状況等が報告されました。また、「マイバッグ持参率を60%以上にするためにはどうしたらいいか」をテーマにワークショップが行われ、活発な意見が交わされました。(チームリーダー 渡辺)



趣味の林業講座 今年も開催

市民の森づくりチーム

市民の森づくりチームでは長野市内に自由に市民が利用できる森を造ろうと、「市民の森づくりプロジェクト」に取り組んで7年になるとしています。その活動の中でも安全で楽しい森での作業を広めようと「趣味の林業講座」が毎年開催されています。すでに200名近い方が受講され、成果も広まっています。(チームリーダー 堀池政史)



「趣味の林業講座」スパイラル市民の森で

チームの活動報告

ちょっと聞いてみました

環境部を訪ね職員にインタビューしてきました。

- ①環境部に来て環境意識やくらしが変わりましたか。
- ②P会議を知っていましたか?要望は?
- ③市民との対応で困ったこと嬉しかったこと悩みなど

Aさん 所属：生活環境課 男性 30代
好きな動物は犬です。

- ①意識が変わり、ごみの分別など徹底してやっています。異動しても分別は継続して行きます。
- ②知りませんでした。現在は、審議会に関わり知っています。名前だけは知っていても、何をやっているか知らない職員が多いのでは?職員と関わりを持ち、環境部の全員にもっと知ってもらわなくてはいいですか。
- ③市民から相談があった場合、個人としては理解・納得できるが、市としては断らなければいけない時は困ります。嬉しいことは「ご丁寧な対応ありがとう」という市民の一言。悩みは、

「聞く力」「話す力」の不足、特に電話は相手の顔が見えないので、どのような情報が求められているか的確に判断することが難しいです。

Bさん 所属：環境政策課 男性 30代
好きな動物はネコです。

- ①もともとごみの分別や、食べ残しをしない、ポイ捨てをしないなどを意識をしていたので、くらしは今までと大きく変わっていません。
- ②知らなかったです。現在は、業務で関わりがあるので十分知っています。要望というか提案ですが、他のチームの活動にも参加する機会を作るのはどうでしょうか。チーム同士の連携の可能性や、新しいことに気づけるかもしれません。
- ③市内の土地勘がもう少し欲しいです。例えば、大岡地区などほとんど土地勘が無いので場所を言われてもすぐにイメージがわきません。土地勘があればお話を聞くときに、すぐに相手に共感できる材料になると思います。

Cさん 所属：廃棄物対策課 男性 30代
好きな動物は柴犬です。

- ①環境部に来て、ごみの出し方、食べ残しをしない、マイバッグ持参などの意識・生活スタイルが変化しました。家族は妻と子ども二人ですが、家の中でも環境の意識は高くなりました。
- ②知り合いに会員がいたので名前は知っていましたが、NPOの活動なのか、どのような組織なのか分かりません。活動が大変なわりには葛藤がありそうに思えます。
- ③産廃業者は適正にやっても悪いイメージを持たれがちです。産廃業者に対するイメージをより良くできるように指導をしていきたいです。市民の皆さんは、ごみの処分に適正な対価を支払い、国内の資源は国内でリサイクルをする意識を持っていただきたいと思います。

インタビューを終えて...

3人の方の真摯な回答、しっかりとポリシーを持ってお仕事をされていることに感動。P会議に対しても率直なご意見をいただき、このような場を是非持ちたいと強く思いました。インタビューのために貴重なお時間を割いていただいた3人の方に感謝!!(事務局w)